

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	2294201716		
法人名	医療法人 秀慈会		
事業所名	秀慈会 グループホーム 桃源の丘 (1階)		
所在地	静岡県駿河区国吉田6丁目6-6		
自己評価作成日	令和2年11月5日	評価結果市町村受理日	令和2年12月11日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	https://www.kajgokensaku.mhlw.go.jp/22/index.php?action=kouhyou_detail_022_kan=true&jiyosyoCd=2294201716-00&ServiceCd=320&Type=search
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社第三者評価機構 静岡評価調査室		
所在地	静岡県葵区材木町8番地1 柴山ビル1F-A		
訪問調査日	令和2年11月13日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

コロナの影響で外出など出来ていないので、毎日歩行訓練やケアリハを取り組み、身体機能の維持ができるように訪問リハビリと連携を取り支援をしています。
室内にいたるが増えているので、観光地や世界の景色などの動画を流し少しでも気分転換できるように工夫しています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

一番コロナが猛威を振るっているときに東京在住の息子さんの「会いたい」希望に応え、テレビ電話で希望を叶えたという例もあり、嚙下状態が少し心配となった利用者の方を職員間で声を掛け合い食形態を変えようといった速やかな対応が日常に溶け込んでいます。「(コロナ禍で)家族と会えずさびしいよ」という利用者には、長めに家族と電話で話してもらおうようにしたり、また面会での家族の様子から「疲れているのかも…」と察知して、「体調など大丈夫ですか」と電話を入れるといった配慮が自然に励行されている事業所です。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印		項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	「アットホームな環境を提供する」を方針理念としています。アットホームな環境を提供するには、明るく元気に過ごしてもらう事だと思うので職員に笑顔で挨拶をするように心がけるように話しています。元気に挨拶をすることで利用者も笑顔になり場の雰囲気も明るくなっています。	「しばらくは集まることを控えるように」との法人の方針から月1回のフロア会議が休止されているため、理念の振り返り機会もありますが、家族アンケートでも「明るい」と評され、訪問時にも闊達な声と笑いが耳に届いていました。	理念の実践を振り返る機会、または達成度を計れるようにすることを期待します。
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	新型コロナの影響にて地域との交流を設ける機会が来ていません。1月より参加したS型デイサービスも中止となり、例年11月に実施の小学校の職場見学も中止となりました。	開設から積み重ねた取組みはことごとく中止しています。特にS型デイサービスは1月から参加はじめてばかりでコロナ禍となり、大変残念です。昨年は近隣から柿が届き、皆で干し柿をつくったことが良い思い出となっていて、「今年も～」と心待ちにしています。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	現在は地域貢献するような活動は実施できていません。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	新型コロナの影響にて運営推進会議の実施を見合わせています。入居者情報や事故状況は作成して、市役所や包括、参加者に提供しています。ご家族には桃源の丘通信を郵送し、コメントを記入して普段の様子を伝えています。	偶数月の隔月開催を続けていた運営推進会議は2月を最後に中止とし、2ヶ月分の活動内容を書面化したうえで「報告書」として市役所に郵送しています。また、メンバーである民生委員は中まで入ってこず(自粛で)、地域情報をポストインしていただいています。	条例下の制度のため、「行政出席」という点を考慮し、メンバー全員への郵送とともに、FAX返信やはがき等で意見をもらう仕組みをつくることを期待します。
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	入居者情報や事故状況を作成し、市役所に定期的に報告をしています。介護保険更新時に入居者情報を確認したり、最新の情報を確保するようにしています。	介護保険の更新などで窓口には月1回ほど出向いています。また、静岡市が推進しているシニアサポーターの登録事業所となり、みかん体操などに混じって「でんでん体操」を運動の一環として導入しています。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	現在は身体拘束をしている利用者はいない。今後も職員と話し合いながら身体拘束の必要のないケアを検討し実践していくように努めています。	身体拘束廃止未実施減算に係る事柄は整備され、委員会も3ヶ月に1度開催されています。「待つ」といった言葉はでがちですが、非言語である声の抑揚や表情は優しい印象で許容できるものであるため、細かく注意はしていません。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	日ごろから利用車の身体チェックを行い、傷や痣がないか確認をしています。職員に対しては焦らず、落ち着いて無理のない介護を心掛けるようにと話しています。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	2019年に社会福祉協議会主催の成年後見制度の研修に参加しました。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約の際には説明の後、疑問点はないか確認をしています。その場でなくても後日、疑問点がある場合は受けています。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	利用者の意見・要望については日ごろの会話の中から聞き出し、できる限り対応するようにしています。 家族等の意見・要望については面会時や相談窓口を設けいつでも対応できるようにしています。	2ヶ月に1度季節が散りばめられた絵葉書をこまめに送ってくださる家族もいて、事業所でも今度のお正月は年賀状をだすよう手配が進んでいます。東京に住む息子の要望で、清水在住の娘とともにテレビ電話で再会を果たした利用者もいます。	コロナ禍で面会は思うようになってはいないため、普段の様子を写真やDVDで家族に届けることも検討ください。
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	月に一度開催しているフロア会議の場や個々で意見や提案がある場合に話を聞き、職員同士で話し合い、反映するようにしています。	月1回のフロア会議は「集まる」ことは止めていますが、食事・排泄・レクリエーション・入浴4つの委員会は少人数のため話し合いの場をもち、その内容を書面であげてもらうことで、フロア会議と同じ機能をもたせています。また半年に1回個人面談もあります。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	勤務時間内に仕事が残っていても職員同士で協力し、取り組んでいます。 行事等の計画を立て実行したり、利用者の変化や細かい気づきなどがあるときは、感謝の言葉をかけるようにしています。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	法人内で定期的に勉強会などを開催しています。勤務状況をふまえ、可能な限り研修に参加しています。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	グループホーム協会に加盟し、情報収集や研修に参加するなど、サービスの向上を心掛けています。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	職員から積極的に話をして本人の困っていることなどを聞き出すようにしています。困っていることなどがあれば、職員たちと話し合い、必要ならば家族と相談し聞き入れるようにしています。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご家族との話し合いにて、困っていること、不安なことを聞き、職員とも話し合い出来る限り対応できるように努め、ご家族に日常の様子を報告するように努めています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	医療、リハビリなど必要な支援があれば、医師に相談したり、訪問リハビリに相談し介入できるよう連携を取り対応できるように努めています。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	食器拭きや洗濯物をたたむなど、利用者にもできる事を職員がお願いしています。利用者が「洗った食器を持ってきて、私たちが拭くから」など自分達から言ってこられます。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	現在は面会を極力控えて頂くよう、ご家族や知人の方たちに理解して頂けるように伝えていきます。面会に来られた場合は、玄関の扉越しにて電話で会話して頂いています。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	家族の方や普通通っていた教会から手紙届いています。面会に来られた場合は、玄関の扉越しにて電話で会話して頂いています。	「面会は基本的に自粛」ということになっていますが、「どうしても会いたい、見たい」と訪れる家族には、「15分以内なら」と制限を設け、ガラス越し(音声は携帯電話)での会話を以て、要望に応えるよう工夫しています。	家族リモートなど、面談方法の高度化を望んでいますので、さらなる工夫に取り組むことを期待します。
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	レクリエーションや行事は利用者全員が参加できるものを考え、利用者同士がコミュニケーションをとれるようにしています。利用者同士で関係作りが困難な場合は職員が代わりになるようにコミュニケーションをとるようにしています。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	入院先や入所先に訪問し、本人の状態などを確認して再び利用して頂けるように努めています。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	毎日の会話の中で、希望や意向を聞き出し把握するように努めています。	「しばらくは集まることを控えるように」との法人の方針から月1回のフロア会議が休止されているため、理念の振り返り機会はありませんが、家族アンケートでも「明るい」と評され、訪問時にも闊達な声と笑いが耳に届いていました。	理念の実践を振り返る機会、または達成度を計れるようにすることを期待します。
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	その日、その時の本人の体調や気分などを考慮し本人の訴えに臨機応変に対応するように努めています。	開設から積み重ねた取組みはことごとく中止しています。特にS型デイサービスは1月から参加はじめてばかりでコロナ禍となり、大変残念です。昨年は近隣から柿が届き、皆で干し柿をつくったことが良い思い出となっていて、「今年も～」と心待ちにしています。	
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	入浴時や陰洗時などに体の状態を確認しています。日常の会話や表情から精神的に弱くなっていないか確認するように努めています。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	カンファレンスを定期的に行い、心身のケアのやり方、今後のケアの方向性などを話し合い計画を見直すようにしています。	「しばらくは集まることを控えるように」との法人の方針から月1回のフロア会議が休止されているため、理念の振り返り機会はありませんが、家族アンケートでも「明るい」と評され、訪問時にも闊達な声と笑いが耳に届いていました。	理念の実践を振り返る機会、または達成度を計れるようにすることを期待します。
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	カルテや日誌に日々の生活の様子や体調変化などを記録し、申し送りノートでも職員たちに対処策や改善点などを情報共有し見直しに活かせるようにしています。	開設から積み重ねた取組みはことごとく中止しています。特にS型デイサービスは1月から参加はじめてばかりでコロナ禍となり、大変残念です。昨年は近隣から柿が届き、皆で干し柿をつくったことが良い思い出となっていて、「今年も～」と心待ちにしています。	
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	訪問看護、訪問診療、訪問リハビリ、歯科衛生士の訪問を利用し、利用者の健康保持に努めています。 S型デイサービスや小学生の施設見学なども利用し地域の方たちと交流の機会を増やしています。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	S型デイサービスの利用や小学生の施設見学にて外部の人たちと交流する機会を増やし楽しんで頂けるように支援しています。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	訪問診療時に医師に相談し、受診が必要な場合はご家族に連絡をし、専門科医に受診をして頂くよう依頼をしています。	「しばらくは集まることを控えるように」との法人の方針から月1回のフロア会議が休止されているため、理念の振り返り機会もありますが、家族アンケートでも「明るい」と評され、訪問時にも闊達な声と笑いが耳に届いていました。	理念の実践を振り返る機会、または達成度を計れるようにすることを期待します。
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	毎週の訪問看護師加入時に、利用者の情報を伝え、医師に相談した方がよいのか、受診した方がよいのかなどの相談をするように努めています。 訪問看護師加入時以外でも必要な場合は相談するよう努めています。	開設から積み重ねた取組みはことごとく中止しています。特にS型デイサービスは1月から参加はじめたばかりでコロナ禍となり、大変残念です。昨年は近隣から柿が届き、皆で干し柿をつくったことが良い思い出となっていて、「今年も～」と心待ちにしています。	
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	必要な情報を適切に伝え、その都度情報交換をするように努めています。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所のできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	家族と今後の方針などを話し合い、同法人内での連携も取り受け入れなど検討し、支援できるように取り組んでいます。	「しばらくは集まることを控えるように」との法人の方針から月1回のフロア会議が休止されているため、理念の振り返り機会もありますが、家族アンケートでも「明るい」と評され、訪問時にも闊達な声と笑いが耳に届いていました。	理念の実践を振り返る機会、または達成度を計れるようにすることを期待します。
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	急変時、事故発生時の対応マニュアルをもとに、各職員は対応できるようにしています。	開設から積み重ねた取組みはことごとく中止しています。特にS型デイサービスは1月から参加はじめたばかりでコロナ禍となり、大変残念です。昨年は近隣から柿が届き、皆で干し柿をつくったことが良い思い出となっていて、「今年も～」と心待ちにしています。	
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	災害対策マニュアルをもとに、年に2回、防災訓練や避難訓練を実施しています。全職員が避難経路の確認、防災グッズの保管場所の確認をし、対応ができるよう努めています。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	言葉遣いには十分に気を付け、さん付けの徹底と命令口調などにならないよう努めています。 部屋の扉を本人が居ない場合でも閉めプライバシー保護に努めています。	「しばらくは集まることを控えるように」との法人の方針から月1回のフロア会議が休止されているため、理念の振り返り機会もありませんが、家族アンケートでも「明るい」と評され、訪問時にも闊達な声と笑いが耳に届いていました。	理念の実践を振り返る機会、または達成度を計れるようにすることを期待します。
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	提供する内容を利用者へ提案し、各自選択できるように声かけをし思いや希望を引き出せるようにしています。	開設から積み重ねた取組みはことごとく中止しています。特にS型デイサービスは1月から参加はじめてばかりでコロナ禍となり、大変残念です。昨年は近隣から柿が届き、皆で干し柿をつくったことが良い思い出となっていて、「今年も～」と心待ちにしています。	
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	提供する内容を利用者へ提案し、各自選択できるように声かけをできる限り希望に沿うように支援できるようにしています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	職員が準備した服を着てるので、今後は本人が服を選び、選んだ服を着て頂くように支援していきます。職員には本人に服を選んでもらうように声かけをするよう伝え、実践するようにします。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	今日の献立は何でしょうとレクの時間に話したり、郷土料理などが出るときは場所や由来などを調べ、食事に興味を持ってもらえるようにしています。	「しばらくは集まることを控えるように」との法人の方針から月1回のフロア会議が休止されているため、理念の振り返り機会もありませんが、家族アンケートでも「明るい」と評され、訪問時にも闊達な声と笑いが耳に届いていました。	理念の実践を振り返る機会、または達成度を計れるようにすることを期待します。
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	御飯を食べない時は、持参された梅干しやふりかけなどを提供し少しでも多く食べて頂くようにしています。 水分量が少ない時はできる限り水分を取っていただけるようにお茶以外の物を提供したりしています。	開設から積み重ねた取組みはことごとく中止しています。特にS型デイサービスは1月から参加はじめてばかりでコロナ禍となり、大変残念です。昨年は近隣から柿が届き、皆で干し柿をつくったことが良い思い出となっていて、「今年も～」と心待ちにしています。	
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	本人が磨いた後は磨き残しがないか職員が口腔内を確認し口腔内の清潔保持ができるよう努めています。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	トイレ誘導をした際に、失敗していた場合や出なかった場合は、時間をずらし誘導しタイミングを計るようにしています。職員同士で情報共有するようにしています。	「しばらくは集まることを控えるように」との法人の方針から月1回のフロア会議が休止されているため、理念の振り返り機会もありますが、家族アンケートでも「明るい」と評され、訪問時にも闊達な声と笑いが耳に届いていました。	理念の実践を振り返る機会、または達成度を計れるようにすることを期待します。
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	便秘になりやすい利用者にはお腹のマッサージや便秘解消の体操に取り組んでいます。	開設から積み重ねた取組みはことごとく中止しています。特にS型デイサービスは1月から参加はじめてばかりでコロナ禍となり、大変残念です。昨年は近隣から柿が届き、皆で干し柿をつくったことが良い思い出となっていて、「今年も～」と心待ちにしています。	
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	湯船に入浴剤を入れ、色や匂いで入浴を楽しんで頂けるようにしています。湯船に入らない方には、足湯を提供し足から温まって頂くようにしています。		
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	本人の希望にて、午前・午後に臥床をする時間があります。夜も本人の寝たい時間に居室に戻って寝て頂くように支援しています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	どのような副作用が出るのかを把握し、副作用が現われた場合にはすぐに医師に報告するように努めています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	毎月おやつレクなどを開催し、簡単な作業を一人ひとりに取り組んでもらい、少しずつできる事を増やしていけるよう支援しています。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	現在は新型コロナウイルス感染の影響にて、外出を控えているため、動画などを流し外出気分を味わっていただいています。	「しばらくは集まることを控えるように」との法人の方針から月1回のフロア会議が休止されているため、理念の振り返り機会もありますが、家族アンケートでも「明るい」と評され、訪問時にも闊達な声と笑いが耳に届いていました。	理念の実践を振り返る機会、または達成度を計れるようにすることを期待します。

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	お金の所持を認めていない為、現在はお金の使用の支援は行っておりません。	開設から積み重ねた取組みはことごとく中止しています。特にS型デイサービスは1月から参加はじめてばかりでコロナ禍となり、大変残念です。昨年は近隣から柿が届き、皆で干し柿をつくったことが良い思い出となっていて、「今年も～」と心待ちにしています。	
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	面会時にコロナ対策として扉越しに顔を見ながら電話にて会話をして頂くようにしています。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	利用者の通り道に物を置かない、トイレはいつでも清潔を保つよう汚れていれば掃除するなどの配慮に努めています。フロアには季節ごとの絵やひな人形、兜、鯉のぼりなどを置いて季節感が出るように努めています。	「しばらくは集まることを控えるように」との法人の方針から月1回のフロア会議が休止されているため、理念の振り返り機会もありますが、家族アンケートでも「明るい」と評され、訪問時にも闊達な声と笑いが耳に届いていました。	理念の実践を振り返る機会、または達成度を計れるようにすることを期待します。
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	共用空間において、気の合う利用者同士が話などできるように席の配置を配慮しています。	開設から積み重ねた取組みはことごとく中止しています。特にS型デイサービスは1月から参加はじめてばかりでコロナ禍となり、大変残念です。昨年は近隣から柿が届き、皆で干し柿をつくったことが良い思い出となっていて、「今年も～」と心待ちにしています。	
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	本人や家族が話し合い欲しいもの、必要な物を持ってきていただき居室に置いて大丈夫であることを家族に伝えています。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	トイレやお風呂場などの場所が分かるように、入口には表札を貼ってあります。フロアには、通行の邪魔にならないよう倉庫や棚にしっかり物を収納し安全に生活できるようにしています。		

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	2294201716		
法人名	医療法人 秀慈会		
事業所名	秀慈会 グループホーム 桃源の丘 (2階)		
所在地	静岡県駿河区国吉田6丁目6-6		
自己評価作成日	令和2年11月5日	評価結果市町村受理日	令和2年12月11日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	https://www.kajirokensaku.mhlw.go.jp/22/index.php?action=kouhyou_detail_022_kan=true&jiyosyoCd=2294201716-00&ServiceCd=320&Type=search
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社第三者評価機構 静岡評価調査室		
所在地	静岡県葵区材木町8番地1 柴山ビル1F-A		
訪問調査日	令和2年11月13日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

コロナの影響で外出など出来ていないので、毎日歩行訓練やケアリハを取り組み、身体機能の維持ができるように訪問リハビリと連携を取り支援をしています。
室内にいたるが増えているので、観光地や世界の景色などの動画を流し少しでも気分転換できるように工夫しています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

一番コロナが猛威を振るっているときに東京在住の息子さんの「会いたい」希望に応え、テレビ電話で希望を叶えたという例もあり、嚙下状態が少し心配となった利用者のことを職員間で声を掛け合い食形態を変えようといった速やかな対応が日常に溶け込んでいます。「(コロナ禍で)家族と会えずさびしいよ」という利用者には、長めに家族と電話で話してもらおうようにしたり、また面会での家族の様子から「疲れているのかも…」と察知して、「体調など大丈夫ですか」と電話を入れるといった配慮が自然に励行されている事業所です。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印		項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I.理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	「アットホームな環境を提供する」を方針理念としています。アットホームな環境を提供するには、明るく元気に過ごしてもらおう事だと思うので職員に笑顔で挨拶をするように心がけるように話しています。元気に挨拶をすることで利用者も笑顔になり場の雰囲気も明るくなっています。		
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	新型コロナの影響にて地域との交流を設ける機会が来ていません。 1月より参加したS型デイサービスも中止となり、例年11月に実施の小学校の職場見学も中止となりました。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	現在は地域貢献するような活動は実施できていません。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	新型コロナの影響にて運営推進会議の実施を見合わせています。入居者情報や事故状況は作成して、市役所や包括、参加者に提供しています。ご家族には桃源の丘通信を郵送し、コメントを記入して普段の様子を伝えています。		
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	入居者情報や事故状況を作成し、市役所に定期的に報告をしています。 介護保険更新時に入居者情報を確認したり、最新の情報を確保するようにしています。		
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施設を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	現在は身体拘束をしている利用者はいない。今後も職員と話し合いながら身体拘束の必要のないケアを検討し実践していくように努めています。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	日ごろから利用車の身体チェックを行い、傷や痣がないか確認をしています。職員に対しては焦らず、落ち着いて無理のない介護を心掛けるように話しています。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	2019年に社会福祉協議会主催の成年後見制度の研修に参加しました。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約の際には説明の後、疑問点はないか確認をしています。その場でなくても後日、疑問点がある場合は受けています。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	利用者の意見・要望については日ごろの会話の中から聞き出し、できる限り対応するようにしています。 家族等の意見・要望については面会時や相談窓口を設けいつでも対応できるようにしています。		
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	月に一度開催しているフロア会議の場や個々で意見や提案がある場合に話を聞き、職員同士で話し合い、反映するようにしています。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	勤務時間内に仕事が残っていても職員同士で協力し、取り組んでいます。 行事等の計画を立て実行したり、利用者の変化や細かい気づきなどがあるときは、感謝の言葉をかけるようにしています。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	法人内で定期的に勉強会などを開催しています。勤務状況をふまえ、可能な限り研修に参加しています。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	グループホーム協会に加盟し、情報収集や研修に参加するなど、サービスの向上を心掛けています。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	職員から積極的に話をして本人の困っていることなどを聞き出すようにしています。困っていることなどがあれば、職員たちと話し合い、必要ならば家族と相談し聞き入れるようにしています。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご家族との話し合いにて、困っていること、不安なことを聞き、職員とも話し合い出来る限り対応できるように努め、ご家族に日常の様子を報告するように努めています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	医療、リハビリなど必要な支援があれば、医師に相談したり、訪問リハビリに相談し介入できるよう連携を取り対応できるように努めています。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	食器拭きや洗濯物をたたむなど、利用者にもできる事を職員がお願いしています。利用者が「洗った食器を持ってきて、私たちが拭くから」など自分達から言ってこられます。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	現在は面会を極力控えて頂くよう、ご家族や知人の方たちに理解して頂けるように伝えていきます。面会に来られた場合は、玄関の扉越しにて電話で会話して頂いています。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	家族の方や普通っていた教会から手紙届いています。面会に来られた場合は、玄関の扉越しにて電話で会話して頂いています。		
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	レクリエーションや行事は利用者全員が参加できるものを考え、利用者同士がコミュニケーションをとれるようにしています。利用者同士で関係作りが困難な場合は職員が代わりになるようにコミュニケーションをとるようにしています。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	入院先や入所先に訪問し、本人の状態などを確認して再び利用して頂けるように努めています。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	毎日の会話の中で、希望や意向を聞き出し把握するように努めています。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	その日、その時の本人の体調や気分などを考慮し本人の訴えに臨機応変に対応するように努めています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	入浴時や陰洗時などに体の状態を確認しています。日常の会話や表情から精神的に弱くなっていないか確認するように努めています。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	カンファレンスを定期的に行い、心身のケアのやり方、今後のケアの方向性などを話し合い計画を見直すようにしています。		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	カルテや日誌に日々の生活の様子や体調変化などを記録し、申し送りノートでも職員たちが対応策や改善点などを情報共有し見直しに活かせるようにしています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	訪問看護、訪問診療、訪問リハビリ、歯科衛生士の訪問を利用し、利用者の健康保持に努めています。 S型デイサービスや小学生の施設見学なども利用し地域の方たちと交流の機会を増やしています。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	S型デイサービスの利用や小学生の施設見学にて外部の人たちと交流する機会を増やし楽しんで頂けるように支援しています。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	訪問診療時に医師に相談し、受診が必要な場合はご家族に連絡をし、専門科医に受診をして頂くよう依頼をしています。		
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	毎週の訪問看護師加入時に、利用者の情報を伝え、医師に相談した方がよいのか、受診した方がよいのかなどの相談をするように努めています。 訪問看護師加入時以外でも必要な場合は相談するよう努めています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	必要な情報を適切に伝え、その都度情報交換をするように努めています。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	家族と今後の方針などを話し合い、同法人内での連携も取り受け入れなど検討し、支援できるように取り組んでいます。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	急変時、事故発生時の対応マニュアルをもとに、各職員は対応できるようにしています。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	災害対策マニュアルをもとに、年に2回、防災訓練や避難訓練を実施しています。全職員が避難経路の確認、防災グッズの保管場所の確認をし、対応ができるよう努めています。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	言葉遣いには十分に気を付け、さん付けの徹底と命令口調などにならないよう努めています。 部屋の扉を本人が居ない場合でも閉めプライバシー保護に努めています。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	提供する内容を利用者に提案し、各自選択できるように声かけをし思いや希望を引き出せるようにしています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	提供する内容を利用者に提案し、各自選択できるように声かけをできる限り希望に沿うように支援できるようにしています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	職員が準備した服を着てるので、今後は本人が服を選び、選んだ服を着て頂くように支援していきます。職員には本人に服を選んでもらうように声かけをするよう伝え、実践するようにします。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	今日の献立は何でしょうとレクの時間に話したり、郷土料理などが出るときは場所や由来などを調べ、食事に興味を持ってもらえるようにしています。		
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	御飯を食べない時は、持参された梅干しやふりかけなどを提供し少しでも多く食べて頂くようにしています。 水分量が少ない時はできる限り水分を取っていただけるようお茶以外の物を提供したりしています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	本人が磨いた後は磨き残しがないか職員が口腔内を確認し口腔内の清潔保持ができるよう努めています。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	トイレ誘導をした際に、失敗していた場合や出なかった場合は、時間をずらし誘導しタイミングを計るようにしています。職員同士で情報共有するようにしています。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	便秘になりやすい利用者にはお腹のマッサージや便秘解消の体操に取り組んでいます。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	湯船に入浴剤を入れ、色や匂いで入浴を楽しんで頂けるようにしています。湯船に入らない方には、足湯を提供し足から温まって頂くようにしています。		
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	本人の希望にて、午前・午後に臥床をする時間があります。夜も本人の寝たい時間に居室に戻って寝て頂くように支援しています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	どのような副作用が出るのかを把握し、副作用が現われた場合にはすぐに医師に報告するように努めています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	毎月おやつレクなどを開催し、簡単な作業を一人ひとりに取り組んでもらい、少しずつできる事を増やしていけるよう支援しています。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	現在は新型コロナウイルス感染の影響にて、外出を控えているため、動画などを流し外出気分を味わっていただいています。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	お金の所持を認めていない為、現在はお金の使用の支援は行っていません。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	面会時にコロナ対策として扉越しに顔を見ながら電話にて会話をして頂くようにしています。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	利用者の通り道に物を置かない、トイレはいつでも清潔を保つよう汚れていれば掃除するなどの配慮に努めています。 フロアには季節ごとの絵やひな人形、兜、鯉のぼりなど物を置いて季節感が出るように努めています。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	共用空間において、気の合う利用者同士が話などできるように席の配置を配慮しています。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	本人や家族が話し合い欲しいもの、必要な物を持ってきていただき居室に置いて大丈夫であることを家族に伝えています。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	トイレやお風呂場などの場所が分かるように、入口には表札を貼ってあります。 フロアには、通行の邪魔にならないよう倉庫や棚にしっかり物を収納し安全に生活できるようにしています。		